

◆日本共産党は今年創立104年。暮らし・平和・人権

国民のためにブレずにはたります。

休日当番病・医院

4月5日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 アーク整形外科クリニック ときわ町 68-6111
- ◆歯科 川沿歯科医院 川沿町 76-6480

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談

親身な相談で定評



4月23日(木)
長野順一弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
日本共産党市議団ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

高額療養費制度改悪

森本市議

患者の命綱守れ

いのち削る負担増の撤回 国に求めてほしい



所得者への配慮はあるが、短期入院の方など一部の加入者には負担増につながる」との認識を示しました。「経済的な負担による受診控えは加入者の健康リスクにつながるため、窓口で医療費相談を受けたい際には、減免制度や他の支援策などを案内し、丁寧に対応していきたい」と答弁。

市は、「北海道市長会を通じて引き上げにより被保険者の医療費負担が急激に増加しないよう国に十分配慮するよう求めている」と答弁。今後情報収集に努め、道や市長会と連携し、必要な措置を求めていく考えを示しました。

担当課は、「昨今の物価高騰を背景に被保険者の生活負担が増加しているなかで、さらなる負担増につながるものと認識している。国は社会保険分野の歳出改革などと合わせ、社会保障負担軽減の範囲内で徴収することで、追加的な負担がない仕組みと説明しており、市としては丁寧な市民説明と周知に努めたい」と答えました。

真下紀子議員は、日本国憲法、とくに9条が国民や自衛隊員の命を守ってきたと意義を強調し、9条改憲は国民と自衛隊員を危険にさらすと指摘。自民党道議らが机を叩き「被害妄想だ」などのヤジを飛ばして議場が騒然となるなか、「いま憲法論議の促進を求める大義はない」と訴えました。「国旗損壊罪」意見書についても、「処罰は憲法違反だ」として反対しました。

大きな病気やケガで高額な医療費がかかった際に自己負担を一定に抑える高額療養費制度の負担上限額を引き上げる来年度予算案の審議が国会で進められています。

苦小牧市議会の2026年度企業会計予算審議で、日本共産党の森本健太議員は、「この制度は、重い病気や長期治療を受ける方にとって負担を抑える命綱ともなっています。限度額引き上げは、治療を続けられるかどうかに直結し、お金の心配から受診を控えようか、薬を少しガマンしようかと考えさせるような制度変更であってはならない」とたどりました。

担当課は、現在国会で審議中で今後修正の可能性もあるとし、「今回の見直しは自己負担額の引き上げと、所得区分の細分化を行うもので、低

所得者への配慮はあるが、短期入院の方など一部の加入者には負担増につながる」との認識を示しました。「経済的な負担による受診控えは加入者の健康リスクにつながるため、窓口で医療費相談を受けたい際には、減免制度や他の支援策などを案内し、丁寧に対応していきたい」と答弁。

受診控えや治療中断は、本人の命や健康に係わるだけでなく、結果として重症化を招き、医療費が増加しかねません。担当課は、「受診しなかつた場合はレセプト(処方箋)情報がないため、アンケートや通知による把握は難しい。窓口での相談を通じて市民の生の声を受けとめ、実態把握に努めたい」と答えました。

森本委員は、相談窓口の周知をさらに強め、福祉部門や生活支援の窓口とも連携し、治療継続が困難になりそうなる方や早い段階で支える体制が必要だと強調。「高額療養費制度は、本来重い負担から市民を守る制度なのだから、見直しによって必要な治療を諦める人を出さないためにも、国に見直しの撤回や軽減措置を求めるべきです」と強く迫りました。



憲法論議推進・国旗損壊罪意見書 道議会可決 共産党は反対 大義ない

北海道議会3月定例会最終日の19日、自民党が提出した「国旗損壊罪制定」「憲法論議推進」の意見書が可決されました。日本共産党道議団は両

意見書に対して質疑、反対討論を行いました。

「国旗損壊罪制定」(国旗の法的保護の充実を求める)意見書は、日本国の国旗に対する侮辱目的の損壊、除去または汚損行為に関し、諸外国の制度も踏まえつつ、法的保護のあり方について検討を行うよう求めるとしています。自民、日本維新の会の賛成で可決。「憲法」意見書は日本

るとしても、物価高騰のもとで市民生活が厳しさを増しているなか、国保加入者に新たな負担を求めるものではないか」とたどりました。

担当課は、「昨今の物価高騰を背景に被保険者の生活負担が増加しているなかで、さらなる負担増につながるものと認識している。国は社会保険分野の歳出改革などと合わせ、社会保障負担軽減の範囲内で徴収することで、追加的な負担がない仕組みと説明しており、市としては丁寧な市民説明と周知に努めたい」と答えました。

同日議論された米国・イスラエルによるイラン攻撃の停止を求める決議は、いかなる理由であろうとも国際紛争の解決手段として武力を用いることは、国際法違反であり、許されないと指摘。自民党派が「法的評価は定まっておらず、決議は不適当だ」と反対討論し、否決されました。

核兵器禁止条約の批准を 大軍拡反対! 外交で平和を

共産党以外の全会派の賛成で可決されました。

「憲法」意見書の質疑で日本共産党の丸山はるみ議員は、提案理由を説明しない自民党を批判。意見書が想定する憲法論議の目的を質問しましたが、意見書発議者の道議は、どの質問項目についても「特定の項目の議論を求めるものではない」などと同様の答弁を繰り返しました。

暮らし大変 カジノ視察する時か

市議会予算委 富岡議員 I-R断念迫る



苦小牧市の2026年度一般会計予算審議において、苦小牧都市再生コンセプトプラン経費のなかにI-R(カジノ)を中核とする統合型リゾート施設)誘致を目的に海外視察なども含めた1100万円の予算が計上されました。

都市再生プランは、I-Rを踏まえたものではないと言う過去の理事者の答弁でしたが整合性はあるのか。さらにこのI-R関連予算がどこに計上されているのか、担当者も分からなかったと言います。

日本共産党の富岡隆議員は3月の予算委員会、「市民の多額な税金を使うのに、こんな不透明な予算計上のあり方があるのか。I-R関連予算隠しと言わざるをえない」と厳しく追及しました。

担当課は、「都市再生プランは、I-Rを前提としたものではないが、政策事業の一環として主要項目の一つとして示したものの」とのべ、「予算書に掲載がないと言う指摘に対しては、今後主要事業概要の書き方について分かりやすいように工夫していく」と詭弁とも取れる答弁を繰り返すだけでした。

驚くべきことに、I-R誘致のために米国のラスベガスに職員2人、シンガポールには市長と職員2人が視察に行くとしています。

富岡委員は、「調査によると、日本のカジノの収益は国内客が大半なのに、シンガポール、ラスベガスは国外客が7割、8割となっている。日本のカジノ集客と全く違うところに何故行くのか。しかもインターネットが普及し、視察に行かなくても、誰でも分かるようになっていて」と指摘。「これまで何のために多額の予算をつかって調査してきたのか。I-Rの予算があれば高物価で苦しんでいる市民に対して福祉灯油の拡大などはかることができるのではないか」と、予算案は市民の目線に立っていないと厳しく断じました。

金澤俊市長は、「ラスベガスはカジノ以外にスポーツビジネスの割合が多いと聞いているので実態を把握し、市民の理解が得られるチャンスがあるかも知れない」とあくまでも視察に強い意欲を示しました。

富岡委員はまた、ギャンブル依存症について、金澤市長が日本共産党議員の代表質問への答弁で、「十分な対策を講じることで、最小限にすることが可能である」と答えたのに対し、「日本の規制では週3回入場できるとしている

が、十分に依存症になりえるし、何の規制にもならない」と指摘。「I-Rは、カジノの収益が7割、8割なければ成り立たない施設であり、ギャンブル依存症は規制できない。いつまでもI-Rにしがみつかないで諦めるべきだ」と主張し、誘致の断念と予算の撤回を求めました。

ギャンブル依存症招く 道議会 丸山議員 カジノ誘致やめよ



道議会の一般質問で3月9日、日本共産党の丸山はるみ議員は、北海道はI-R誘致をやめるよう迫りました。

I-R誘致をめぐる鈴木知事は、自民党議員の質問に対し道の「基本的な考え方」改定を今年秋に行う見通しだと答弁しています。丸山議員は、ギャンブル依存症への医療相談体制や対策の不十分さを指摘。道の有識者懇談会でも論

点が多岐に渡っており徹底的に迫りました。

生業と暮らしを守るために 消費税減税 インボイス廃止 日本共産党

十分の規制にもならない」と指摘。「I-Rは、カジノの収益が7割、8割なければ成り立たない施設であり、ギャンブル依存症は規制できない。いつまでもI-Rにしがみつかないで諦めるべきだ」と主張し、誘致の断念と予算の撤回を求めました。

な審議が必要だとして、道の「考え方」改定を急ぐべきではないと追及しました。

入場回数制限などの「対策」について有識者懇談会で議論を深めるとする鈴木知事に対して丸山議員は、再質問・再々質問で具体的な依存症の事例を示し、「数回の利用が依存症の入り口になりうる」と強調。依存症は家庭生活の崩壊などを招くとし、「I-R誘致はギャンブルに触れる機会、する機会を増加させる。徹底した議論を保証せず、時期を示して進めることは、時期ありきで進めた宿泊税と同様に制度の欠陥を招く」とのべ、I-R申請を行わないよう迫りました。



子ども命奪うな イラン攻撃に抗議す

アメリカとイスラエルがイランを攻撃して停戦も見通せず1カ月になります。私は強く抗議します。この攻撃では、真つ先にイランの最高指導者を殺害し、次々と罪のない民間人の命が奪われています。病院や学校、住宅等まで攻撃して破壊し、子どもを含む多くの人たちが瓦礫に埋もれてしまいました。アメリカとイスラエルの行為は、正気の沙汰ではありません。

イラン攻撃には、米軍基地の横須賀港に配備しているイージス艦に搭載したトマホークが発射された可能性があります。政府はこれまで、在日米軍は「抑止力」だと正当化してきま

止力」だと正当化してきましたが、実際は先制攻撃に参加する部隊だということだと思えます。2003年のイラン戦争でも、日本から出撃した戦闘機がイラク全土で空爆を繰り返しました。在日米軍を容認する政府は、先制攻撃を肯定していることになりま

「憲法改悪を許さない全国署名」に「協力をお願いします。」

赤旗日刊紙を友として 月3497円 購読をお勧めします



カジノ予算抗議集会に参加(3月9日市役所前)